

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：ポピンズナーサリースクール片倉町	種別：保育所	
代表者氏名：荻野 真樹	定員（利用人数）： 60名	
所在地：〒221-0081 横浜市神奈川区神大寺4-16-6		
TEL：045-488-2113	ホームページ： https://www.poppins.co.jp/educare/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2013年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ポピンズエデュケア		
職員数	常勤職員： 16名 非常勤職員 11名	
専門職員	（専門職の名称） 名 栄養士 2名	
	施設長 1名	
	保育士 18名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室(6室)・調理室・調乳室・医務室・事務室	冷暖房・床暖房・空気清浄機・自動昇降機を完備 園庭・屋上園庭あり

③ 理念・基本方針

企業理念 働く女性を最高水準のエデュケアと介護サービスで支援します
基本方針 人生で最も重要な時期の人間教育を目指します
寛容な人間 聡明で愛情深い人間 探究心の旺盛な人間 グローバル社会で活躍できる人間

④ 施設・事業所の特徴的な取組

エデュケア 養護と教育が一体となった、質の高い保育を、ポピンズ独自のアプローチ方法を用いて実践し、ドキュメンテーションなどの保育記録を作成していく 現在はSDGsに着目しており、こどもたちとともに、これからの世界、地球について学んでいる
--

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年 6月 30日（契約日） ～ 2023年 3月 7日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成29年度）

⑥ 総評

◇特長や今後期待される点

特長

- ・法人の理念を園として実現できるよう取り組んでいる

施設長は、法人が大切にしている「本物、一流に触れる体験を通して学び続ける」という考えを保育の中で実現できるよう、様々な活動の中で、常にその考えをもとで取り組みの意味を確認している。今後も、その取り組みを通して、職員にも法人の考えを浸透させ、理念の実現を目指している。

- ・保護者との関わりを大切に、信頼関係を築けるように取り組んでいる

送迎時の会話やウエブでの配信、園内掲示にも力を入れながら、保護者との情報共有に努め、信頼関係を築くことができるように取り組んでいる。兄弟姉妹を卒園児にもつ保護者とはコミュニケーションも取りやすく、また、第一子の保護者に対しては、子育ての悩みなども気軽に相談してもらえるように、気持ちに寄り添うことを大切にしている。

- ・子どもが様々な活動を体験し、楽しむことができるように援助している

戸外活動では自然や遊びの中で、他児と関わる楽しさを感じることが出来るように援助し、室内では製作や音楽などを通して様々な表現活動を行うことが出来るよう、年齢に応じた丁寧な関わりを心掛けている。保護者アンケートにおいても、「園での活動」に関する設問での満足度は大変高く、「夏祭りの商品(焼きそば)作りを、ただ制作するだけでなく、本当に作るかのように工程を踏むなど、いつも発想豊かに保育をしてくださっています」など、取り組みを評価する声が聞かれている。

今後期待される点

- ・中長期計画・事業計画をより実践的に策定することが期待される

施設長就任2年目であり、安定的な日々の園運営を行えるように努めている。職員の定着にも取り組み、安定した園運営に結び付いてきつつある。事業計画については法人のフォーマットで策定されているが、園の抱える課題を反映したものではないため、理念達成を目指し、法人の中長期計画を基に園の中長期計画として、園長の考えているヴィジョンを示し、職員・保護者に共有することが期待される。

- ・子どもへの声かけ、言葉づかい等については継続的な課題としている

子どもの年齢や発達に合わせながら、一人ひとりの状況を把握できるように努めており、職員間で共有し、子どもを尊重した保育を行うことができるように取り組んでいる。子どもへの声かけ、言葉づかい、促しなどについては継続的な課題とし、全体への周知が期待される。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審して私個人としては、施設長2年目にこのような評価を受ける機会は大変貴重な経験となりました。

私自身、組織のトップとしてまだまだ力不足である部分が浮き彫りになったという印象です。

一方で、今回の受審はそういった部分が次年度以降の課題であるということが、はっきりと理解でき、これからの新体制にとても有用なものであることを認識しております。

面談当日も、回答に困っていると促して頂いたり、課題である部分も、目標として換言していただいたりとどこか、激励されているかのようで、これからの体制、運営方針などについて、勇気づけられたような、そんな気持ちにさせられました。本当にあ

りがとうございました。

これから先はより、スタッフ、保護者様、また、地域の方々と連携を取りながら園に関わる全ての人にとって、より豊かな経験に繋げていけたらと考えております。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり